

「調布子どもへの性暴力・性被害を許さない市民の会」

國中咲枝

2021年4月に調布市内のスポーツ施設で女兒につきまとっていた男が通報され、スマホに盗撮画像があったことで児童買春・児童ポルノ法違反、建造物侵入の疑いで逮捕されました。この男は三鷹市の小学校教員で、2018年10月から女兒・男児を盗撮していたとされています。2018年度まで調布市立小学校の教員であり、報道内容から「その頃も盗撮を繰り返していたのでは」と、私の周りでも衝撃が走りました。

「盗撮なんて忘れたいし、なかったことにしたい」と思う人もいるかもしれません。でも、何もしないのは盗撮犯罪を見過ごすことにならないでしょうか。「子どもへの性犯罪を大人は許さない」という姿勢を子どもたちに示したいと思い、市内の保護者を中心に会を結成しました。

調布市教育委員会が事件について何の声明も出していないことに疑問を感じて市長と教育長に要望書を提出し、8月初旬に教育委員会と面談しました。委員会は事件に関する情報収集や再発防止に取り組んできたが、正確な情報が得られなかったために発信できていないという回答でした。ただ今の状況では「先生は何もしてくれない」というメッセージを子どもたちに送っていることになってしまうので、後日、経過説明や性暴力への対策、相談窓口などを児童生徒や保護者に周知するよう再度要望し、対応を待っているところです。

今回の事件をきっかけに、性被害にあっても声を上げれば大人が受け止めて一緒に安心できる環境を取り戻せるということを、子どもたちに伝えたいと強く思います。

まずは多くの人にTwitter(@stop_sasc_chofu)をフォローしてもらい、この問題に関心を持つ人が増えることを希望しています。

議会報告会に参加して 思ったこと

口分田葉子

子宮頸がんワクチン接種による深刻な被害の問題があったのに、調布市内で同じワクチン接種が増加していることに驚いた。現在の情報提供では小6から高1の少女が接種の判断をすることは困難だと思うが、保護者が子どもに接種させるかを悩み判断しているのか。

保護者や少女たちに、子宮頸がんのリスクとワクチン副反応の危険性について確かな情報提供の機会を作るとともに、性教育を通じ自分の身体について学び大切にできる人権教育が必要だ。

議会報告会では、木下議員と直接の意見交換も出来ます。皆さんも是非ご参加ください。



昨年2020年は、調布・生活者ネットワーク設立から30周年でした。30年間のあゆみをリーフレットにまとめました。



ひとこと提案 いつでも募集中!

生活の中で気づいた課題をお寄せください!

○メール : waku2seikatusha@mpd.biglobe.ne.jp

○住所 : 〒182-0022 調布市国領町 8-1-13

○電話 /FAX : 042(487)3087



○オンラインフォーム ⇒ ⇒ ⇒



おしゃべりカフェ

日時 : 11月6日(土)10:30 ~ 12:00

場所 : あくろす会議室2または zoom

内容 : 議会報告後、色々お話ししましょう!

参加費 : 無料

主催 : 調布・生活者ネットワーク

問合せ先 : 042(487)3087

メール : waku2seikatusha@mpd.biglobe.ne.jp

オンライン申込 : <https://j.mp/3lnfWx4>

申込締切 : 電話・メールは11月4日(木)

オンライン申込は常時受け付けています。



申込みサイト

